

令和7年度 授業改善推進プラン 体育科

観点別			
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びを通して、基本的な動きを身に付けられるように教材を工夫する。 ・各種の運動遊びを通して、様々な運動感覚を養えるように単元計画を工夫する。 ・ボールゲームや鬼遊びを通して、考えて動く力や素早く動く力を伸ばしていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを工夫したり、規則を工夫したりして友達に伝えるようにする。 ・簡単なルールを決めたボールゲームや鬼遊び、リレーなどを通して、規則を守ったり工夫したりして楽しく運動ができるようにする。 ・簡素化した学習カードや振り返りカードを活用して、少しずつ振り返りができるようにする。 ・タブレットPCを活用して、運動場面を動画で撮影することで、手本と比較したり、自分の成長に気が付いたりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動意欲を認め、楽しく運動ができるようにする。 ・運動の楽しさを味わうことのできる場の設定や教材の工夫をする。 ・分かりやすいきまりにすることで、安全に気を付けて運動できるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びを通して、基本的な動きを身に付け、運動感覚を養えるように教材、単元計画を工夫する。 ・マットや鉄棒、とび箱などの器械器具を使っての運動遊びに重点的に取り組ませ、逆さ感覚、回転感覚、腕支持感覚などを養うための指導を行う。 ・ボール運動では、小グループ活動を通して、教え合いながら互いに技能を高め合うことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能を高めたり、より遊びを楽しむためには、どうすればいいのかを友達に伝えたり、チームや班などで考えたりするようにタブレットやワークシートを活用し指導を工夫する。 ・簡素化した学習カードや振り返りカード等を活用し、少しずつ自身で記録をとることで思考を働かせながら、運動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや約束を守って活動するための場の工夫、指導展開の工夫を行う。 ・各種の運動遊びでは、使い方をしっかり確認し、安全に気を付けて運動するように指導する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けるために、スモールステップで、段階を追って発展させていく。 ・運動のポイントが分かるような学習資料を提示し、児童が活用できるようにする。また、それをもとに次時のめあてを具体的に立てられるようにする。 ・保健の学習では、より具体的に理解できるように情報機器を用いたり、実験的な活動を行ったりする。 ・ゲームの規則やコート工夫して素早く動く力を伸ばしていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技のポイントやよい動きなど、カードや映像を活用して児童に提示するとともに、友達の動きのよさに目を向けさせる。 ・めあて、ふり返しカードを活用し、自分の動きやゲームの作戦、工夫したところなどを記述できるようにする。 ・一人ひとりが自己の課題をもって取り組めるように、めあてを立てさせて取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性を理解し、児童に運動の楽しさを味わわせることができるような単元の計画、場の設定、活動の工夫を行う。 ・安全に気を付けて運動するように指導する。 ・児童の学習成果が、目に見えて分かるように、学習始めと終わりに記録(数値・動画)をとったり、使用する教材を工夫したりする。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けるために、スモールステップで、段階を追って発展させていく。 ・運動のポイントが分かるような学習資料を提示し、児童が活用できるようにする。また、それをもとに次時のめあてを具体的に立てられるようにする。 ・保健の学習では、養護教諭と連携して授業を行う。第2発育急進期や一人一人の個性について学習し、命の尊さやつながりについてしっかり理解させる。 ・ゲームの規則やコート・ボールの種類等を工夫して動く力を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が課題をもって運動に取り組むことができるよう、めあてをもって取り組ませる。自己の課題に気付きめあてを立てられるようにする。 ・ペア、もしくはトリオでの活動を取り入れて「見合う」機会をとり伝え合う場を設けるとともに、動きのよさやポイントを理解できるようにする。 ・タブレットやデジタル教材等を活用し、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性を理解し、児童に運動の楽しさを味わわせることができるような単元の計画、場の設定の工夫を行う。 ・安全に気を付けて運動するように指導する。 ・学習カードや振り返りカードなどに自分の記録や友達の考えなどを記録して、自分の成果と友達の関わりの成果が分かるように工夫したりする。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の中で、走る活動を取り入れ、持久力が上がるように取り組んでいく。 ・児童一人一人に技能に関する具体的なめあてをもって学習に取り組ませ、振り返りをさせることによって次の学習に生かせるようにさせる。 ・体づくり運動(体力を高める運動)を通して、持久力を高めるように指導する。 ・心の健康・けがの防止について自分の生活を振り返り、簡単な対処法や予防法を理解させる。 ・ボール運動のルールやコートを工夫したり、ハードル走の場の設定を工夫したりすることで、素早く動く力を伸ばしていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやトリオで学習に取り組ませる。見合うポイントを指導し、それができたかできないかを児童同士で考え、伝え合う場を設ける。 ・めあてを明確にもたせ、自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫できるように、自分の力に合った運動の行い方を選べるように助言し、目当てに対してしっかり振り返りをさせる。 ・タブレットや映像等を活用し、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士が励まし合い認め合う場を多く設定し、運動する意欲を高められるようにする。 ・「できた!」と感ぜられる場面を多く設定し、意欲を高めていく。 ・学習カードに記録をとったり、感想を書いたりして、自分なりの価値観がもてるよう指導する。

<p>6年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めに5分走などの持久力が上がるように取り組んでいく。 ・なわ跳びでリズムに合わせて体を動かす時間を取ることやゲームボール運動を行う際は、補助運動で切り返しのある運動を取り入れる。 ・病気の予防について、「早寝・早起き・朝ごはん週間」の取り組みや自分の生活と結びつける。加えて、薬物乱用防止教室を通してより詳しく知識を獲得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを明確にもたせ、自己の能力に適した課題の解決の仕方や運動の取り組み方を工夫できるように、自分の力に合った運動の行い方を選べるように助言する。 ・タブレットパソコンを活用し、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を積極的に取り入れる。 ・ゲーム・ボール運動でチームでは作戦を考えさせ、コートを広く使いながら動けるように指導していく。 ・学習カードを活用し、めあてに対する自分の学習の様子や成果を振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の学習に主体的に取り組んでいる児童が多いとは言えない。個に応じた場の設定をし、「できた」を多く感じさせ、意欲を高めていく。 ・「チームで作戦を考え、意見を肯定的に聞く時間」や「児童が励まし合い認め合う場を多く設定すること」を継続して授業で行っていく。
-----------	---	---	---